

特定非営利活動法人あきたパートナーシップ

ニュースレター VOL. 136

2018年度がスタートしました

2018年度総会が5月27日（日）午後3時30分から、パーティーギャラリーイヤタカに於いて開催されました。司会者は当法人事務局長伊藤惣孝、出席者17名、委任状12名で会議が成立する旨を宣言し、会議が始まりました。

最初に菅原理事長が「NPO法の制定から20年になりNPO法人の数は増えています。しかし最近では10年以上活動してきたNPOが解散や活動を休止するケースも増えてきています。これはNPOが自立し、活動を継続していくことがいかに困難かを物語っているのではないのでしょうか。当法人は中間支援組織として、これからもNPOの支援・協力を努め、NPOが社会的に存在感を高めるようにして参りたいと思います。」とあいさつをしました。

続いて議長に根田昌治理事を選出し、議事に入りました。第1号議案 平成29年度事業報告承認の件について、第2号議案 平成29年度決算報告承認の件について、事務局から詳細な説明がなされました。第3号議案 平成29年度監査報告承認の件については、石井有良監事から監査報告がなされました。議長が1号から3号までの承認について議場に諮ったところ、満場一致異議なく承認されました。



次に、第4号議案 平成30年度事業計画（案）承認の件、第5号議案 平成30年度予算（案）について事務局から説明がなされました。議長が4号、5号の承認について議場に諮ったところ、満場一致異議なく承認されました。議長は提案された議案は全て承認されたことを宣言し、午後4時35分に閉会しました。

この後同じ会場で、NPO法人まちづくりトライアングル理事長長谷部光重氏を講師に、「地域ブランディング戦略」と題する講演がありました。



ブランディングはマーケティング戦略の一環で、顧客から「価値」「共感」「信頼」を得、事業価値を高めるという重要な意味合いを持つという解説の後、世界的なブランド、日本のブランドの数々の例を話されました。それを聞いているうちに、ブランディングというイメージが次第に明確になっていきました。さらに地域ブランドとして、島根県海士町、千葉県流山市のケースについて話されました。流山市を訪問された際の映像から、ブランディングの意義

がより具体的になり、秋田県はもちろん、NPOもブランド戦略に取り組む必要性を認識させられました

30年度 あきたパートナーシップの主な事業

遊学舎指定管理事業

- ◆ 遊学舎の運営
施設の維持・管理・利用に関すること
- ◆ NPO支援業務
市民活動についての相談、広報に関すること
- ◆ 遊学舎企画事業
市民活動を推進する講座、遊学舎まつり、ICT利活用講習、遊・学講座など



遊学舎の30年度講座案内のリーフレットを配布しています。どうぞ手に取ってごらん下さい。あなたの要望に合う講座がきっとみつかりますよ！

他機関との協働事業

- ◆ 協働の地域づくり推進事業
(秋田県地域の元気創造課から受託)
CB、CSRの促進、企業とNPOとの協働など、地域全体の協働を推進する。
- ◆ 地域活力発見フェスタ開催事業
(県北NPO支援センターに協力)
地域活力発見フェスタ/中央地区の開催
- ◆ 除排雪団体立ち上げ等推進事業
(秋田県県民生活課から受託)
地域の除排雪を支援する共助団体の立ち上げと、団体同士の連携・交流促進
- ◆ あきた若者塾開催事業
(秋田県次世代・女性活躍支援課から受託)
若者塾の開催
- ◆ SAVE JAPAN プロジェクト
(日本NPOセンターから受託)
NPO法人あきた白神の森倶楽部ほかと協力して、白神山地で自然観察会を実施
- ◆ 福島県県外避難者への相談・交流・説明会事業
(福島ふくしま連携復興センターから受託)
東日本大震災で被災し福島県から避難した方々への支援

30年度 あきたパートナーシップの主な予算

経常収益	
受取会費	115,000
事業収益	
遊学舎指定管理事業	59,108,000
受託事業	15,329,549
法人事業	300,000
印刷事業	3,000,000
その他収益	200
経常収益計	77,852,749

経常費用			
事業費	人件費	38,727,659	
	その他経費	38,305,890	
	光熱水費	(12,653,266)	
	再委託料	(6,797,520)	
	修繕費	(1,620,000)	
	公課費	(3,070,212)	
	その他	(14,164,892)	
	事業費計	77,033,549	
	管理費	人件費	720,000
		その他経費	707,600
管理費計		1,427,600	
経常費用計	78,461,149		

健康漫談「笑いと健康」

5月28日（月）13時30分から、遊学舎会議棟で健康漫談「笑いと健康」が開催されました。参加者は予想を上回る105人。大部分がシニア層で、遊学舎に初めて入ったという方もあり、ちょっと驚き。

講座は2部構成で、1部は「簡単ストレッチで身も心もリラックス」、講師はセルフフィットネス代表の森本さおり氏。2部は健康漫談「笑いと健康」、講師は笑い療法士あやし家こいつ氏。



早速第1部スタート。森本氏の若々しい、きりりとした声に、会場全体が明るい雰囲気に。椅子に座ったままで身体を伸ばし呼吸を整えると、気分もすっきりしてきました。簡単に一人でもできる体操で、家に帰ってからもやってみようという声があちこちから聞こえてきました。

第2部の講師あやし家こいつ氏は本名北沢正嗣氏。埼玉県所沢市在住で、笑い療法士（癒しの環境研究会認定）の資格を取得し、埼玉県内で「笑和サロン」を開催するなど活躍されています。

今回のテーマは「笑いと健康」。100歳以上の長寿者が全国で67,824人おり、そのうち女性が59,627人と聞いてびっくり。笑いは免疫力と自然治癒力を高めること、笑顔は周りも元気にし、人間関係に潤いを与える“福作用”があること、さらに社会参加が元気を延ばすことなどのデータを示し、笑いを誘いながら話されました。

人生100年時代、増えつづける高齢者の元気、ボケ防止に、笑いのもたらす効用を実感させられました。

参加者からストレッチと漫談の組み合わせが良かったという声が聞かれ、皆さんにこやかな笑顔で、福作用を高めながら、遊学舎を後にされました。



遊学舎のふれあい広場が花いっぱい！

6月5日、遊学舎ボランティア5人の協力のもと、ふれあい広場に花植えをしました。100個のプランターに、ベゴニア、マリーゴールド、サルビア、メランポジウムなどを次々に植えていきました。未だつぼみのままですが、間もなく広場を彩ることでしょう。

ボランティアの皆さんお疲れ様でした。ありがとうございました。



遊学舎の企画事業が次々に実施されています。そのいくつかを紹介します。

遊・学講座 『初心者のための手話』～Let's Try!～ 5月16日(水)、30日(水) 19:00~20:30 実施

『秋田県手話言語、点字等の普及等による円滑な意思疎通の促進に関する条例』施行を背景に、コミュニケーションツールの一つとして手話が普及することで、障がいのあるなしに関わらず意思疎通を円滑にし、みんなが生活しやすい社会を目指しています。これまで2回実施しましたが、夜間の講座にもかかわらず10人以上が参加。これからも6月、7月の第2、第4木曜日に開催します。初心者大歓迎です。



遊・学講座 「洋らん栽培教室」

5月27日(日) 10:00~12:00 実施

秋田洋蘭会さんを講師に、参加者が持ち寄った鉢植えの洋らんの植替えのしかた、肥料の与え方、枯れた根の切り方等を実演を交えながら学びました。

これからも6月24日(日)、9月23日(日)の10時から開催されます。コショウラン、シンビジューム、デンドロビューム等の開花の方法・育て方、四季をとおしての株の管理方法等の相談に応じます。

大切なランを美しく咲かせ続けるために、ぜひご参加下さい。



市民活動活性化事業 遊学舎フリーマーケット

6月3日(日) 実施

今年も始まりました、遊学舎フリーマーケット!

NPO・ボランティア活動の支援と、一般家庭の不用品の再利用を図り、ゴミの減量とリサイクルを目的として実施しています。今回も参加申込みが殺到しましたが、30団体が抽選で選ばれました。当日は好天に恵まれ、ふれあい広場いっぱいにお店が並び、大変な盛況でした。

